

## 前期計画の評価 (概要版)

## 1 評価方法

「第6次宇都宮市総合計画」の評価手法(行政評価)に準じて、前期計画の評価を行った。

## 2 施策分野別の評価

## 【地球環境分野】(基本施策数8:順調6, 概ね順調1, やや遅れ1)

- ・ 構成事業の着実な推進により、一部の基本施策を除き、総合評価は「順調」となっている。
- ・ 「一世帯当たりのCO2排出量」については、基準年度と比較し排出量が増加しており、実効性の高い事業の企画・推進とともに、実践行動の促進に向けた更なる普及啓発が必要である。

基本施策 施策指標	施策指標 評価	構成事業 評価	総合評価	評価分析
1-1-1 家庭における省エネ・低炭素化の促進 【指標】一世帯当たりのCO2排出量	C	計画どおり	やや遅れ	主に家庭(猛暑等によるエネルギー使用量の増加等)や運輸部門におけるCO2排出量の増加により、総合評価は「やや遅れ」となった。
1-1-2 事業所における省エネ・低炭素化の促進 【指標】省エネセミナーに参加した事業者数	A	計画どおり	順調	HPや広報紙、事業者向けメルマガなどで、セミナー開催情報について積極的な周知に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
1-1-3 市役所における省エネ・低炭素化の促進 【指標】市有施設におけるCO2排出量	A	計画どおり	順調	焼却ごみ中に含まれるプラごみの割合が低下し、温室効果ガス排出量が減少したことにより総合評価は「順調」となった。
1-2-1 創エネルギー・畜エネルギーの利活用の推進 【指標】太陽光発電設備導入世帯数	A	計画どおり	順調	太陽光発電に対する補助事業や各種普及啓発事業に積極的に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
1-2-2 地域のポテンシャルを生かした新たなエネルギー等の利活用の推進 【指標】冷熱エネルギーを活用した事業への参入者数	A	計画どおり	順調	地域資源を活かした事業化への支援などにより総合評価は「順調」となった。
1-3-1 環境負荷の少ない都市整備の推進 【指標】特定規模電気事業者(PPS)等を活用した市有施設数	B	計画どおり	概ね順調	小中学校や保育園、清掃工場など多くの施設で導入され、総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて構成事業の見直し等が必要である。
1-3-2 エコで利用しやすい交通体系の構築 【指標】公共交通の年間利用者数	A	計画どおり	順調	公共交通ネットワークの充実に交通事業者や地域住民と一体となって取り組んできたことなどにより、総合評価は「順調」となった。
1-3-3 気候変動への「適応」に関する普及啓発 【指標】「適応」をテーマとした出前講座等の啓発回数	A	計画どおり	順調	市内イベントで、啓発用パネルを設置するなど積極的野に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。

【廃棄物分野】（基本施策数7：順調1，概ね順調4，やや遅れ2）

- ・ 生ごみの減量化・資源化に向けた普及啓発や、適正処理に向けた意識の醸成や排出事業者等に対する指導など、構成事業を着実に推進しているが、施策指標への寄与は十分とはいえないため、構成事業の見直しが必要である。
- ・ 特に、「廃棄物系バイオマスの資源化量」については、資源化量の拡大に向けた事業者の主体的な取組の促進を図るとともに、「リサイクル率」については、実態に即した指標の見直しが必要である。

基本施策 施策指標	施策指標 評価	構成事業 評価	総合評価	評価分析
2-1-1 発生抑制の推進 【指標】ごみ総排出量	B	計画どおり	概ね順調	もったいない生ごみの減量化や簡易包装の推進など、発生抑制の促進に係る、継続的な各種取組を実施したことにより、総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
2-1-2 再使用の推進 【指標】布類分別協力率	A	計画どおり	順調	市民の分別意識の向上のほか、リユースに関する周知啓発の強化に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
2-2-1 ごみの資源化の推進 【指標】廃棄物系バイオマスの資源化量	C	計画どおり	やや遅れ	資源化量の拡大効果が高い事業系生ごみについて、費用面等の課題により取組が進みにくい状況にあり、総合評価は「やや遅れ」となった。
2-2-2 公共施設における資源化の推進 【指標】脱水汚泥の再資源化率	B	計画どおり	概ね順調	民間事業の受入可能な範囲で有効利用を行ったことにより、総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
2-2-3 地域循環の新たな創出に向けた施策の推進 【指標】リサイクル率	C	計画どおり	やや遅れ	店頭回収などによりリサイクルの取組は進展しているが、それらの資源化量は指標に反映されないため、実態に即した指標の見直しが必要である。
2-3-1 適正な処理体制の整備・推進 【指標】多量排出事業所に対する指導割合	B	計画どおり	概ね順調	戸別訪問指導や研修会などを活用した分別徹底や資源化に係る周知啓発を実施したことにより、総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
2-3-2 不法投棄の未然防止，拡大防止 【指標】不法投棄発生件数	B	計画どおり	概ね順調	市民・事業者に対する廃棄物の適正処理の啓発に加え、パトロールやカメラによる監視活動，地域住民による不法投棄監視活動への支援など，各種事業を実施したことにより，総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。

【自然環境分野】（基本施策数 8：順調 3，概ね順調 4，やや遅れ 1）

- ・ 生物多様性に係る出前講座など，構成事業を着実に推進しているが，一部，施策指標への寄与が十分でないものがあるため，構成事業の見直しが必要である。
- ・ 特に，「市内農地における環境保全活動カバー率」については，活動エリアの拡大や新規組織の立ち上げなどの取組が必要である。

基本施策 施策指標	施策指標 評価	構成事業 評価	総合評価	評価分析
3-1-1 生物多様性保全に関する意識の醸成 【指標】生物多様性保全の意識を持った自然ふれあい活動の体験者数	A	計画どおり	順調	環境学習センターにおける講座や各種イベントにおいてネイチャーゲームや自然観察会等に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
3-1-2 生きものとその生息・生育環境の保全の推進 【指標】外来種の影響に関する認知度	B	計画どおり	概ね順調	広報紙，ホームページ，講座，パンフレット，地区市民センター等でのパネル展示による周知啓発等を実施したことにより，総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
3-2-1 農地や森林の多面的機能の維持向上 【指標】市内農地における環境保全活動カバー率	C	計画どおり	やや遅れ	環境保全活動の担い手の減少（高齢化，後継者不足）によりカバー率が低下しており，総合評価は「やや遅れ」となった。
3-2-2 都市の緑の保全と創出 【指標】市民一人当たりの都市公園面積	B	計画どおり	概ね順調	土地区画整理事業区域内における公園整備などの取組により，総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
3-2-3 水資源の確保 【指標】雨水貯留設備の補助件数	B	計画どおり	概ね順調	溢水・浸水被害などの解消・軽減に向け，「宅地内雨水貯留・浸透施設設置の促進」に取り組んだことにより，総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
3-2-4 河川環境の保全と創出 【指標】自然生態系などに配慮して整備している河川の整備率	A	計画どおり	順調	計画的に「河川整備」「雨水幹線整備」「雨水流出抑制対策」等に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
3-3-1 土地機能の維持や活用の推進 【指標】荒廃農地面積（農用地区域内）	A	計画どおり	順調	農業委員会，市農業公社等と連携し，利用意向調査の実施や荒廃農地再生交付金の活用等による荒廃農地の発生抑制に取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
3-3-2 良好な景観の保全・創出 【指標】景観形成重点地区等の指定数	B	計画どおり	概ね順調	大谷地域において指定区域及び景観形成基準（素案）を作成し，景観形成重点地区指定等に向けた基盤づくりを実施したことにより，総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。

【生活環境分野】（基本施策数7：順調5，概ね順調0，やや遅れ2）

- ・ 法令に基づく工場や事業場への立入検査や指導など，構成事業の着実に推進により，一部の基本施策を除き，総合評価は「順調」となっている。
- ・ 「電気自動車補助件数」については，補助要件の見直しを図るほか，「工場・事業場における排出基準超過件数」については，引き続き，迅速な対応を図るとともに，適切な施策指標の検討が必要である。

基本施策 施策指標	施策指標 評価	構成事業 評価	総合評価	評価分析
4-1-1 監視体制の整備と充実 【指標】光化学オキシダントの環境基準達成率	A	計画どおり	順調	大気汚染の状況把握や事業者指導を適切に行ってきたことなどにより総合評価は「順調」となった。
4-1-2 発生源対策の充実 【指標】工場・事業場における排出ガス基準超過件数	A	計画どおり	順調	工場・事業場への立入検査や指導を適切に行ってきたことにより，総合評価は「順調」となった。
4-1-3 自動車排出ガス対策の充実 【指標】電気自動車補助件数	C	計画どおり	やや遅れ	補助対象を「蓄電池として活用できる電気自動車」に限定していることが件数が伸び悩んだ要因であり，総合評価は「やや遅れ」となった。
4-2-1 監視体制の整備と充実 【指標】河川水の生物化学的酸素要求量に係る基準達成率	A	計画どおり	順調	河川・地下水の水質の状況把握や事業者指導を適切に行ってきたことなどにより総合評価は「順調」となった。
4-2-2 発生源対策の充実 【指標】工場・事業場における排出基準超過件数	C	計画どおり	やや遅れ	目標値0に対して各年3～5件の超過があったため総合評価は「やや遅れ」となったが，速やかな行政指導により改善済みである。
4-2-3 生活排水対策の充実 【指標】生活排水処理人口普及率	A	計画どおり	順調	公共下水道については，事業計画区域における整備を，計画的かつ効率的に実施，合併処理浄化槽については，新築家屋の増加への適切な対応や，補助制度の見直し，設置基数が増加したことにより総合評価は「順調」となった。
4-3-1 監視体制の整備と自動車騒音対策の充実 【指標】自動車騒音に係る環境基準達成率	A	計画どおり	順調	自動車騒音の適切な状況把握やエコ通勤の啓発を行ってきたことなどにより，総合評価は「順調」となった。
4-3-2 近隣公害等への対応 【指標】公害等に係る苦情処理件数	A	計画どおり	順調	工場・事業場への適切な指導や近隣公害の防止に係る意識啓発を行ってきたことなどにより総合評価は「順調」となった。
4-3-3 化学物質への対応 【指標】工場・事業場のダイオキシン類基準超過件数	A	計画どおり	順調	工場・事業場への立入検査や指導を適切に行ってきたことにより総合評価は「順調」となった。

【人づくり分野】（基本施策数6：順調2，概ね順調2，やや遅れ2）

- ・ もったいない運動を活用した普及啓発など、構成事業は着実に推進しているが、一部、施策指標への寄与が十分でないものがあるため、構成事業の見直しが必要である。
- ・ 特に、「もったいない運動の普及啓発事業に参加した人数」や「こどもエコクラブ会員数」については、天候など外的要因に影響されない指標数値の設定や、対象者を広く捉えた指標への見直しが必要である。

基本施策 施策指標	施策指標 評価	構成事業 評価	総合評価	評価分析
5-1-1 市民総ぐるみによるもったいない運動の推進 【指標】もったいない運動の普及啓発事業に参加した人数	C	計画どおり	やや遅れ	台風などの外的要因による指標数値の振れ幅が大きくなっており、指標の見直しが必要である。
5-1-2 もったいない運動を取り入れたイベントの開催 【指標】もったいない運動を取り入れたイベントの割合	A	計画どおり	順調	対象の14のイベントにおいて、エコイベント手順書に基づき「もったいない運動」を取り入れに実施したことにより総合評価は「順調」となった。
5-2-1 環境学習の場と機会の提供 【指標】環境学習センター開催講座等への参加者数	B	計画どおり	概ね順調	「地球温暖化」や「生物多様性」など、環境問題や市民の関心などを捉えた講座の実施により、総合評価は、「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。
5-2-2 地域における環境保全活動を担う人材の育成 【指標】「こどもエコクラブ」会員数	C	計画どおり	やや遅れ	施策指標としての対象をこどもに絞ることなく、広くとらえた指標への見直しについて検討する必要がある。
5-3-1 各主体における環境配慮行動の推進 【指標】家庭版環境 ISO 認定制度認定家庭数	A	計画どおり	順調	協力店における周知活動、市民団体と一体となった「もったいない精神」に基づく実践を促す事業の展開などに取り組んだことにより総合評価は「順調」となった。
5-3-2 多様な活動主体間の連携促進 【指標】環境学習センターの利用件数	B	計画どおり	概ね順調	講座見学とセットになった研修室使用の周知や、もったいない講座受講者に対し、自主グループ化の働きかけを行ったことにより、総合評価は「概ね順調」となったが施策指標の達成に向けて事業の見直し等が必要である。